

男鹿市議会

9月定例会

市政報告

北朝鮮からの弾道ミサイル発射事案について

8月29日、午前5時58分頃、北朝鮮西岸より、弾道ミサイルが発射され、午前6時12分頃、襟裳岬東方約1180^キの太平洋上に落下する事案が発生いたしました。

市民の皆様には、防災行政無線により弾道ミサイルの発射、通過、落下情報を伝達するとともに、市ホームページにおいても、落下情報、不審物を発見した際の対応について緊急情報として掲載し、注意喚起を行っております。

また、秋田県漁業協同組合4力所に漁船の出港状況、被害確認を行いました。漁船等の被害は確認されておりません。

風力発電事業について

若美風力開発株式会社が風車7基、総出力1万9950^キワットの規模で、五明光から宮沢に至る地域で行っている風力発電建設事業についてであります。8月に地域住民へ

の工事説明会を行い、工事に着手しており、平成31年3月に稼働の予定と伺っております。

株式会社風の王国・男鹿が船越字一向地内で実施している風力発電事業に伴う、船越地区におけるテレビ電波の受信障害についてであります。8月4日、テレビ電波受信障害への対応等に関して、発電事業者と船越町内会連合会との間で協定が締結されております。

協定においては、受信障害対策として、発電事業者が、受信障害対策中継局の設置、戸別のアンテナ調整等による改善を行うこと等が定められております。

発電事業者においては、対策に必要な設備の設置等、準備作業を進めており、9月以降、受信障害世帯を戸別に訪問し、アンテナ調整等により、順次改善を実施すると伺っております。

秋田大学男鹿なまはげ分校との共催事業による小・中学生の活動について

7月24日、小学生17人と中学生5人が、秋田大学医学部を訪問し、シミュレーショ

ンによる医療技術体験や医学部生との懇談を行いました。この事業は、今年で4年目を迎え、医師、看護師など医療の仕事に関心をもってもらうことを目指しております。

また、7月30日、船川第一小学校を会場に秋田大学理工学部の准教授などによる「わくわくドキドキ理科実験教室」を開催し、小学生60人が参加いたしました。

この事業も、今年で4年目を迎え、子どもたちに科学への興味関心を一層深めてもらうことを目指しております。



小・中学校のスポーツ大会等について

8月5日に開催された第8回全日本女子相撲郡上大会において、鴻西中学校の生徒が

中学生中量級で準優勝、美里小学校の児童が小学4年生以下35^歳未満級で第3位となりました。

また、8月19日、東京で開催された平成29年度民謡民舞少年少女全国大会において、北陽小学校3年生の児童が、コンクール小学1・2・3年生の部で優勝いたしました。

主な事業の進捗状況について

・漁業関係について
湯ノ尻漁港水産物供給基盤機能保全工事は、6月23日に発注済みであり、完成は10月31日の予定となっております。

・市道関係について
申川鶴木線道路改良工事は、11月30日の完成予定となっております。

また、大橋向2号線道路改良工事、親道鳥屋場5号線道路改良工事、船越払戸線防雪柵設置工事、芦沢増川線道路災害復旧工事は、12月15日の完成予定となっております。
・滝川河川改修事業について
今月上旬の発注予定となっております。

観光の状況について

本年6月、7月における観

光客日帰り入り込み数は、6月が13万1598人、7月が21万9585人で、昨年同期と比較して6月が0・7割の増、7月が2・4割の増となっております。宿泊客数は、6月が1万3193人、7月が1万2575人で、昨年同期と比較して6月が7・7割の減、7月が10・9割の減となっております。

なお、8月全体の入込数は、現在集計中ではありますが、主要観光施設における8月11日から18日までの8日間で比較した場合、男鹿水族館G A Oでは前年比7・8割増の2万6345人、なまはげ館は前年比17・7パーセント増の1万543人、また、寒風山回転展望台は前年比14・6割増の3515人となっております。ことから、全体的に良好な入込数が期待されるところであります。

男鹿日本海花火について

8月14日に第15回男鹿日本海花火が開催されました。当日は、天候に若干不安もありましたが、無事開催に至り、約18万人の方々が会場や市内各所において、花火を楽しんでいただけたものと思つて

おります。

また、会場内外では市内関係事業者による飲食等ブースが設置され、大いに賑わっていたほか、「ねんりんピック秋田2017」や「第8回日本ジオパーク全国大会2017 男鹿半島・大潟大会」など、今後、男鹿市で行われる大会等のPRブースを設置し、来場された方々へ周知を図ったところであります。この場をお借りし、改めてご協力を賜りましたすべての皆様に厚くお礼を申し上げます。

クルーズ船の船川港への寄港について

8月5日に「飛鳥II」が「竿燈・ねぶたまつりクルーズ」の寄港地として、船川港に入港しております。

当日は、「船川港クルーズ船寄港歓迎実行委員会」が主体となり、歓迎セレモニーのほか、物産販売や民謡と踊りの披露、なまはげとの記念撮影などの各種イベントを行いました。

当日の乗船客数は794名で、このうちオプショナルツアーにより、316名の方々が男鹿観光のコースに参加しております。

なお、「飛鳥II」は、9月7日にも札幌市の旅行会社「道新観光」のチャータークルーズにより、船川港に入港予定であります。乗船客にとつて良い思い出となるような、おもてなしをしております。



雇用情勢について

7月末現在の秋田県の有効求人倍率は1.34倍となっております。

ハローワーク男鹿管内の有効求人倍率は1.03倍となっております。昨年同期と比較して0.32ポイントの増となっております。

農業の状況について

水稲は、東北農政局秋田地域センターが発表した8月15日現在の県中央の作柄概

況は「平年並み」となっております。

J A秋田みなみによりますと、メロンは6月の低温の影響により品種によつては、小玉傾向となり、出荷時期もお盆過ぎまでずれ込んでおります。8月10日現在の販売数量は5万4000箱で、販売単価が高値で推移したことから販売金額は1億1200万円となっております。

菊の8月20日現在の販売数量は179万9390本で、販売単価が7月は例年並みでありましたが、8月のお盆需要は高値となり、販売金額は8836万6448円となっております。

なお、園芸メガ団地での、お盆向けの輪菊及び小菊については計画通りの出荷となっております。

葉たばこは、6月の低温の影響により、一時生育が停滞したものの、管理作業の徹底により回復し、収穫作業は好天に恵まれたことから順調に進みました。

転作大豆の生育は、降雨により播種時期が遅れたことから、全体的に草丈が短く、枝の数が例年より少ない状況となっております。

漁業の状況について

秋田県漁業協同組合によりますと、本年1月から7月までの漁獲量は2247ト、漁獲金額は6億9994万円で、昨年同期と比較し、漁獲量で236ト、10割の減、漁獲金額では、3944万円、5割の減となっております。